

専門委員会

経営労働委員会《同》

同友会理念のバックボーンである「労使見解」に学び、①福島県同友会版経営指針作成塾の基本プログラムを再構築すること。②県主催の経営指針塾と、地区主催の経営指針セミナーを仕分けし、全県的に経営指針運動の輪が広がるように工夫すること。③これから経営指針を作る会員のための企画や、指針策定後のフォローなど、会員企業の実情に合致した事業を検討すること。④経営指針を確立・実践し、具体的に成果を上げている先輩会員に企業訪問するなど、会員モデル企業から具体的に学ぶ場を作ること。を重点目標に、中期ビジョンに謳う経営指針確立企業100%運動を推進しています。



経営労働委員長
矢田部錦四郎



障害者委員会《同》

同友会は人間を大切にする経営者団体として、障害者雇用をはじめ、障害の有無にかかわらず、だれもが人間らしく共に生きることのできる社会の実現をめざしています。①障害者が自立して生きていくための就労支援や職場実習の受け入れを会内に広げていくこと。②ユニバーサルデザインの製品開発など福祉関連産業の研究・市場創造に力を入れていくこと。③地域の障害者や養護学校、行政などと積極的に交流を深め、障害者と共に生きる社会づくりに向けた地域ネットワークづくりで、同友会もリーダーシップを発揮していくこと。以上の基本方針に基づき、各地区に障害者委員会の設置をめざし活動しています。



障害者委員長
内山 健三



例会部《同》

各地区の例会担当の委員会を支援し、①各地区例会の活動経験を交流し、成果や教訓を全県に広めること。②同友会の学び合い活動の中心である各地区の例会を、会員相互の実践的な経営情報の交流を通して情勢の変化を正確につかみ、経営戦略の再構築と企業革新に役立つ場として充実発展を図ること。③中小企業憲章・中小企業振興条例をテーマにした例会の企画開催を各地区に推進することをめざし活動しています。



例会部長
神長倉豊隆



広報委員会《同》

機関紙「同友ふくしま」の定期発行と紙面充実をめざし活動しています。

- ①情勢に合致、対応した紙面づくり
- ②会員ニーズに合った、企業経営に役立つ紙面づくり
- ③会外（地域）への情報発信、同友会理念を伝えることを意識した紙面づくりに努力しています。また、定期的な報道各社との懇談会の開催を通じて、報道各社との日常的なパイプを強めながら、同友会を広く地域の皆さんに理解していただくよう努力をしています。



広報委員長
大波三貴子



専 門 委 員 会

経営情報委員会《同》

- ①同友会ホームページの充実と利活用を推進すること。
- ②同友会らしい異業種ビジネスネットワークを推進すること。
- ③「産・学・官・金」の外部ネットワークづくりを推進すること。
- ④雇用実態・労働実態・景況など会内の調査研究活動を推進する。
- ⑤各種案内のメール配信等IT（情報技術）を駆使した業務改革を図ることをめざして活動しています。



経営情報委員長
小野 光典



同友会賞事業委員会《同》

県内に働く勤労者の皆さんを対象に、地元中小企業で働く「働きがい」や「生きがい」を綴ってもらい表彰してきた「同友会賞」は、本事業設立以来たいへん多くの方からご支援を頂き発展してきました。過去14回の事業実績を踏まえ、今後の事業内容の見直しを進めています。



同友会賞事業委員長
橋本 政宏



政策委員会《同》

- ①中小企業憲章・中小企業振興条例の学習運動を推進すること。
- ②定例の県知事懇談会と商工労働部長懇談会を実施し、同友会と県とのパイプを強化すること。
- ③地域づくりや金融・税制・労働・教育・地球環境・農業など幅広く学習研究活動を推進し、できることから「同友会の提言」としてまとめることをめざし活動しています。



政策委員長
永澤 俊二



環境委員会《同》

環境保全型企業づくり、環境ビジネスと市場創造、環境保全型地域づくり、の3つの視点から研究活動・実践交流活動をひろげるとともに、各地区に環境委員会の設置をめざし活動しています。



環境委員長
小林 雅顕



専門委員会

総務委員会《同》

- ①会員の持続的増強活動を推進すること。
- ②入会・退会・財務・諸規定の管理を図ること。
- ③全理事一泊研修講座の開催を通じて役員としての資質の向上をめざし活動しています。



総務委員長
鈴木 幸雄



新地区設立委員会《同》

- ①1,500名会員達成を力に、まだ仲間のいない地域に同友会の組織づくりをめざすこと。
- ②合併問題をふまえ、人口規模や企業数規模を調査、長期的な戦略・計画をもって新地区の設立をめざし活動しています。



新地区設立委員長
二階堂一彦



管理財務委員会《同》

事業協同組合と同友会の事業・財務の管理・改善に努めています。



管理財務委員長
遠藤 政勝



経営者交流大会実行委員会《同》

経営者交流大会は、

- ①質量ともに県内で開催される同友会行事の中で最もレベルの高い、どれをとっても学びがいのある「全県例会」。
- ②全県下・8地区の同友会会員が年に一度、一堂に会し、連帯・交流を深め合い、明日からの経営に対する勇気と元気が湧てくる場。
- ③大会を設営した地元の地区同友会の会員が増え、大会を通じてますます活性化すること。という「交流大会の三つの目的」に基づき実施されています。



第30回
経営者交流大会
実行委員長
伊藤 俊一



専 門 委 員 会

社員共育委員会《組》

①新入社員研修・新人フォロー研修・リーダー研修・新入社員受入れ研修等、継続事業の開催とともに、同友会社員教育読本（指針）を成文化すること。②上記研修にあたって、事前事後の参加企業研修会の定式化を図るとともに、社員教育会員講師の養成講座を実施し会員講師団を育成すること。③経営者と幹部社員が共に学びあう幹部研修＝同友会共育塾を開催すること。④社員教育のあり方そのものを会員経営者が相互に学びあう研究会を開催し、教育力のある企業づくりをめざし活動しています。



社員共育委員長
今野 隆



同友会大学事業委員会《組》

同友会大学は過去16年間継続的に実施され、受講生総数は500名を数えます。

「21世紀がわれわれ中小企業経営者および二世・経営幹部に求める『総合的な経営能力』の向上と、複雑に変化する『現代』を見通す大局的な『眼』を養成する」という大学理念に基づき、幅広いジャンルからそれぞれの第一人者を招いての学び合いを実施しています。



同友会大学事業委員長
齋藤 文雄



共同求人委員会《組》

①大学や関係機関との連携を強め、インターネットも活用しながら大学・短大・専門学校を対象とした共同求人活動を推進すること。②各地区の担当委員会や人材共育部と連携し、高校の進路指導の先生との懇談会を開催し、ジュニアインターンシップを推進する中で、高校生や教師に対する職業意識の理解を深め、高校生の共同求人活動をすすめること。③各地区の担当委員会と連携し、新卒・中途に限らず広く人材の採用から雇用問題全般にわたる研究と経験交流を推進すること。④事務局を通して、新卒・中途にかかわらず求人・求職情報を会内に情報提供することをめざし活動しています。



共同求人委員長
今野 隆



総務委員会《組》

- ①事業協同組合の加入推進を図ること。
- ②共同購買事業部と連携しETCコーポレートカード共同精算事業の管理・推進を図ること。
- ③事務局職員の教育・就労条件の整備を図ることに務めると共に、
- ④会員名簿の発行・管理をしています。



総務委員長
鈴木 幸雄



専 門 委 員 会

管理財務委員会《組》

事業協同組合と同友会の事業・財務の管理・改善に努めています。



管理財務委員長
遠藤 政勝



HP管理室《組》

同友会ホームページの管理運用を図っています。



HP管理室長
安孫子健一



専 門 部

経営労働部《同》

経営労働委員会、障害者委員会を統括支援します。

経営労働部長 矢田部錦四郎

例会部《同》

各地区の例会担当委員会を支援し、各地例会の充実・活性化を図ります。

例会部長 神長倉豊隆

広報部《同》

広報委員会、経営情報委員会、同友会賞事業委員会を統括支援します。

広報部長 橋本 政宏

政策部《同》

政策委員会、環境委員会を統括支援します。

政策部長 永澤 俊二

総務部《同》

総務委員会、新地区設立委員会、管理財務委員会を統括支援します。

総務部長 鈴木 幸雄

人材共育部《組》

社員共育委員会、同友会大学事業委員会、共同求人委員会を統括支援します。

人材共育部長 今野 隆

共同購買事業部《組》

共同購買事業を統括管理します。

共同購買部長 鎌田 勝恵

総務部《組》

総務委員会、管理財務委員会を統括支援します。

総務部長 鈴木 幸雄

後継者塾

後継者塾は、後継者である同友会会員及び会員企業の後継者によって構成され、「事業継承」を受ける立場で自主的に活発な活動を進めています。現在、県内全域から約80名が加入し、継承経営という同じ立場を共有しながら塾生相互の日常的・総合的な交流や各種例会、研究会を開催しています。また、全国の学び合いである青年経営者全国交流会にも積極的に参加し、県を超えた仲間同士のネットワークづくりも進めています。



後継塾塾長
大沼 栄一



女性部

女性部は、女性会員と同友会会員の夫人、及び親族で構成され、郡山地区の組織として自主的に活発な活動を進めています。

会員相互の資質の向上と親睦をはかりながら、経営者及び経営者を支える夫人の地位の向上と同友会の発展に寄与することを目的とし、毎月1回の例会を中心とした活動を展開しています。



女性部長
篠崎喜代子



- 《同》は任意団体同友会の委員会・部会
- 《組》は事業協同組合の委員会・部会